

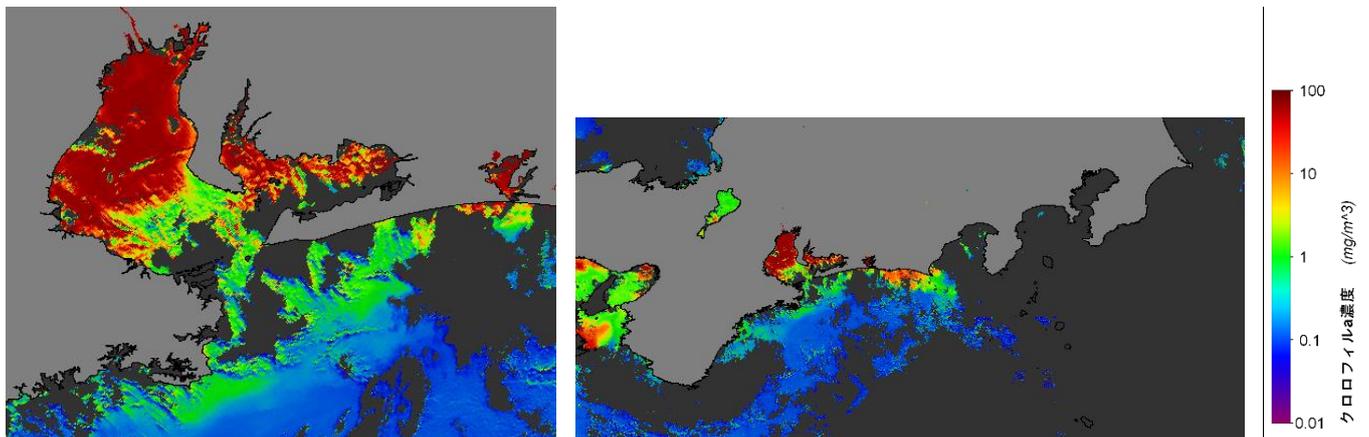
令和元年 7 月 31 日

7 月 23 日の人工衛星クロロフィル a 画像を見ると、降り続いた雨の影響で伊勢湾北部、三河湾で濃度が高くなっています。渥美外海は黒潮系暖水におおわれており、濃度は低くなっています。

クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、伊勢・三河湾は 6～7 月にかけて降り続いた雨の影響で、1～5 月よりも高い値で推移しています。湾口域と渥美沿岸域は目立った変化はみられませんが、渥美外海は 4 月以降減少傾向となっています。

（宇宙航空研究開発機構（JAXA）提供の SGLI 画像）

しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（7 月 23 日）



※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

海況速報（クロロフィル a 濃度の変動）

観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。（令和元年 7 月 25 日までのデータ）

